

離散数理工学 第 1 回

数え上げの基礎：階乗と二項係数

岡本 吉央

okamotoy@uec.ac.jp

電気通信大学

2024 年 10 月 22 日

最終更新：2024 年 9 月 29 日 18:27

今日の目標

次の2つの数を扱えるようになる

- ▶ 階乗, 二項係数

扱えるとは？

- ▶ 漸近公式と簡単な上界, 下界
- ▶ 二項定理
- ▶ 組合せ的解釈: 全単射による証明, 二重の数え上げによる証明

目次

- ① 階乗
- ② 二項係数
- ③ 二項定理
- ④ 今日のまとめ

階乗

定義：階乗とは？ (直観的定義)

非負整数 $n \geq 0$ の階乗とは、次で定義される整数のこと

$$n! = n \cdot (n - 1) \cdot \dots \cdot 1$$

例：

- ▶ $0! = 1$
- ▶ $1! = 1$
- ▶ $2! = 2 \cdot 1 = 2$
- ▶ $3! = 3 \cdot 2 \cdot 1 = 6$
- ▶ $4! = 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 24$
- ▶ ...

直観的定義の問題点：「...」が あいまい

階乗：再帰的定義

定義：階乗とは？ (再帰的定義)

非負整数 $n \geq 0$ の階乗とは、次で定義される整数のこと

$$n! = \begin{cases} 1 & (n = 0 \text{ のとき}) \\ n \cdot (n - 1)! & (n \geq 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

例：

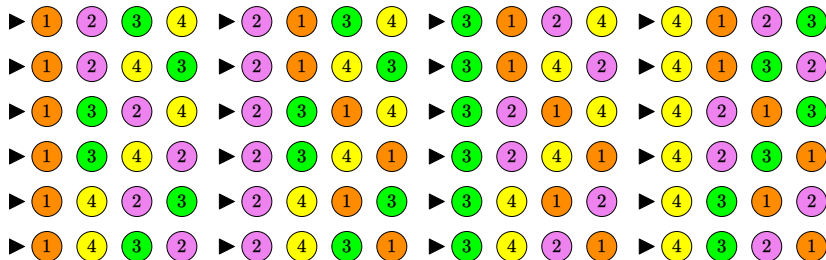
- ▶ $0! = 1$
- ▶ $1! = 1 \cdot 0! = 1 \cdot 1 = 1$
- ▶ $2! = 2 \cdot 1! = 2 \cdot 1 = 2$
- ▶ $3! = 3 \cdot 2! = 3 \cdot 2 = 6$
- ▶ $4! = 4 \cdot 3! = 4 \cdot 6 = 24$
- ▶ ...

組合せ的解釈

階乗の組合せ的解釈

$n!$ = 区別できる n 個のものを 1 列に並べる方法の総数

$n = 4$ のとき, $n! = 24$



格言

組合せの等式は, 組合せ的解釈で直感的に理解

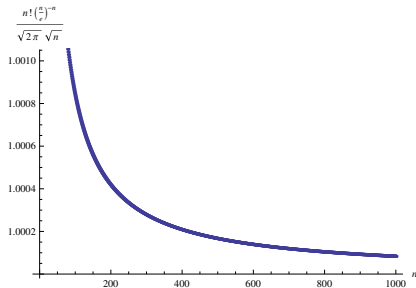
階乗：漸近公式

階乗の性質：スターリングの公式

$$n! = \sqrt{2\pi n} \left(\frac{n}{e}\right)^n \left(1 + O\left(\frac{1}{n}\right)\right)$$

特に,

$$n! \approx \sqrt{2\pi n} \left(\frac{n}{e}\right)^n$$



← $\frac{n!}{\sqrt{2\pi n} \left(\frac{n}{e}\right)^n}$ のプロット

ここで証明は行わない

階乗：上界と下界 (かかい)

実用上、次のような「荒い評価」で十分なことも多い

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e} \right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e} \right)^n$$

つまり,

- ▶ $en \left(\frac{n}{e} \right)^n$ は $n!$ の上界
- ▶ $e \left(\frac{n}{e} \right)^n$ は $n!$ の下界 (かかい)

格言

漸近公式は難しい。簡単な上界・下界を使いこなす。

階乗：上界と下界 — 上界の証明

実用上、次のような「荒い評価」で十分なことも多い

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e}\right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$$

上界の証明： n に関する帰納法

(下界は演習問題)

[基底段階] $n = 1$ のとき

階乗：上界と下界 — 上界の証明

実用上、次のような「荒い評価」で十分なことも多い

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e}\right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$$

上界の証明： n に関する帰納法

(下界は演習問題)

[基底段階] $n = 1$ のとき

▶ $n! = 1! = 1$

階乗：上界と下界 — 上界の証明

実用上、次のような「荒い評価」で十分なことも多い

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e}\right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$$

上界の証明： n に関する帰納法

(下界は演習問題)

[基底段階] $n = 1$ のとき

- ▶ $n! = 1! = 1$
- ▶ $en \left(\frac{n}{e}\right)^n = e \cdot 1 \left(\frac{1}{e}\right)^1 = 1$

階乗：上界と下界 — 上界の証明

実用上、次のような「荒い評価」で十分なことも多い

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e}\right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$$

上界の証明： n に関する帰納法

(下界は演習問題)

[基底段階] $n = 1$ のとき

- ▶ $n! = 1! = 1$
- ▶ $en \left(\frac{n}{e}\right)^n = e \cdot 1 \left(\frac{1}{e}\right)^1 = 1$
- ▶ したがって、 $n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$ となる

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き)

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e}\right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$$

上界の証明： n に関する帰納法[帰納段階] 任意の正整数 $k \geq 1$ を考える

▶ $k! \leq ek \left(\frac{k}{e}\right)^k$ となると仮定

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き)

階乗の性質：簡単な評価

任意の正整数 $n \geq 1$ に対して

$$e \left(\frac{n}{e}\right)^n \leq n! \leq en \left(\frac{n}{e}\right)^n$$

上界の証明： n に関する帰納法[帰納段階] 任意の正整数 $k \geq 1$ を考える

▶ $k! \leq ek \left(\frac{k}{e}\right)^k$ となると仮定

証明すること (目標)

$$(k+1)! \leq e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1}$$

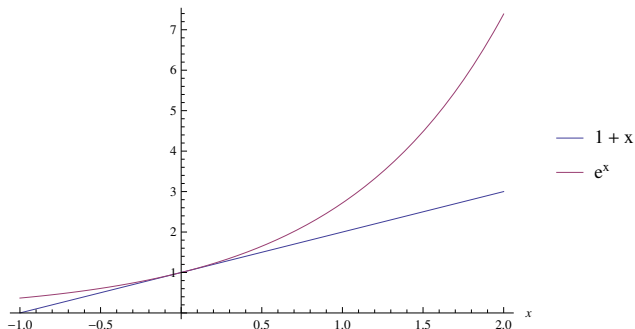
有用な不等式

事実：有用な不等式

(演習問題)

任意の実数 x に対して

$$1 + x \leq e^x$$



階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$(k + 1)! = (k + 1) \cdot k!$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定})\end{aligned}$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定}) \\ &= e \left(\frac{k}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1}\end{aligned}$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定}) \\ &= e \left(\frac{k}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(\frac{(k+1)-1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1}\end{aligned}$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定}) \\ &= e \left(\frac{k}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(\frac{(k+1)-1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(1 - \frac{1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1}\end{aligned}$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定}) \\ &= e \left(\frac{k}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(\frac{(k+1)-1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(1 - \frac{1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &\leq e \left(e^{-\frac{1}{k+1}}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1}\end{aligned}$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定}) \\ &= e \left(\frac{k}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(\frac{(k+1)-1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(1 - \frac{1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &\leq e \left(e^{-\frac{1}{k+1}}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \cdot (e^{-1}) \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1}\end{aligned}$$

階乗：上界と下界 — 上界の証明 (続き 2)

$$\begin{aligned}(k+1)! &= (k+1) \cdot k! \\ &\leq (k+1) \cdot ek \left(\frac{k}{e}\right)^k \quad (\text{帰納法の仮定}) \\ &= e \left(\frac{k}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(\frac{(k+1)-1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \left(1 - \frac{1}{k+1}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &\leq e \left(e^{-\frac{1}{k+1}}\right)^{k+1} \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \\ &= e \cdot (e^{-1}) \cdot e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} = e(k+1) \left(\frac{k+1}{e}\right)^{k+1} \quad \square\end{aligned}$$

目次

- ① 階乗
- ② 二項係数
- ③ 二項定理
- ④ 今日のまとめ

二項係数

定義：二項係数とは？

非負整数 a, b で $a \geq b$ を満たすものに対して、

$$\binom{a}{b} = \frac{a!}{b!(a-b)!}$$

- ▶ $\binom{a}{b}$ は「 a choose b 」と読む (のが普通)
- ▶ ${}_aC_b$ という記号を高校では (なぜか) 使うが、国際的にはあまり用いられない (通じないか, 通じにくい)

組合せ的解釈 (1) : 部分集合

二項係数の組合せ的解釈 (1)

$\binom{a}{b}$ = 要素数 a の集合における, 要素数 b の部分集合の総数

$a = 5, b = 2$ のとき : $\{1, 2, 3, 4, 5\}$ の部分集合で要素数 2 のもの

$\{1, 2\}, \{1, 3\}, \{1, 4\}, \{1, 5\}, \{2, 3\},$
 $\{2, 4\}, \{2, 5\}, \{3, 4\}, \{3, 5\}, \{4, 5\}$

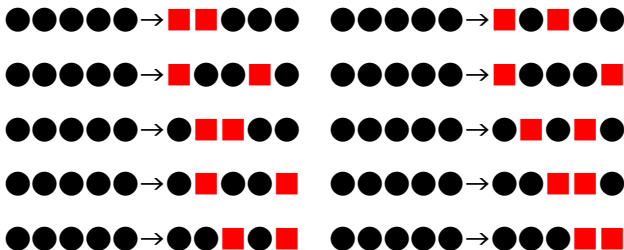
$$\binom{5}{2} = 10$$

組合せ的解釈 (2) : 着色

二項係数の組合せ的解釈 (2)

$\binom{a}{b}$ = 区別できる a 個のものの中から b 個に色を塗る方法の総数

$a = 5, b = 2$ のとき



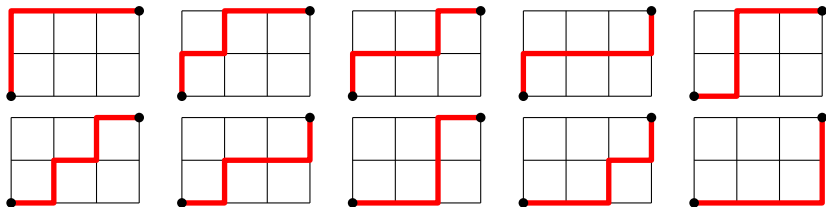
$$\binom{5}{2} = 10$$

組合せ的解釈 (3) : 格子道

二項係数の組合せ的解釈 (3)

$\binom{a}{b}$ = $(0,0)$ から $(a-b, b)$ に至る (単調な) 格子道の総数

$a = 5, b = 2$ のとき : $(0,0)$ から $(3,2)$ に至る格子道



$$\binom{5}{2} = 10$$

二項係数に関する恒等式：対称性

性質：二項係数の対称性

任意の非負整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \binom{a}{a-b}$$

証明：式変形による

$$\binom{a}{a-b} = \frac{a!}{(a-b)!(a-(a-b))!}$$

二項係数に関する恒等式：対称性

性質：二項係数の対称性

任意の非負整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \binom{a}{a-b}$$

証明：式変形による

$$\binom{a}{a-b} = \frac{a!}{(a-b)!(a-(a-b))!} = \frac{a!}{b!(a-b)!}$$

二項係数に関する恒等式：対称性

性質：二項係数の対称性

任意の非負整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \binom{a}{a-b}$$

証明：式変形による

$$\binom{a}{a-b} = \frac{a!}{(a-b)!(a-(a-b))!} = \frac{a!}{b!(a-b)!} = \binom{a}{b}$$

□

等式に対する組合せ的解释：全単射による証明

性質：二項係数の対称性

任意の非負整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \binom{a}{a-b}$$

組合せ的解释で証明してみる

組合せ的解释による等式の証明法 (1)

- 1 左辺と右辺が数える組合せ的解释をそれぞれ定める
- 2 左辺と右辺が数えるものの間の 1 対 1 対応 (全単射) を作る
- 3 それが全単射であることを証明する

これを **全単射による証明** と呼ぶことがある

二項係数に関する恒等式：対称性 — 組合せ的解釈：着色

性質：二項係数の対称性

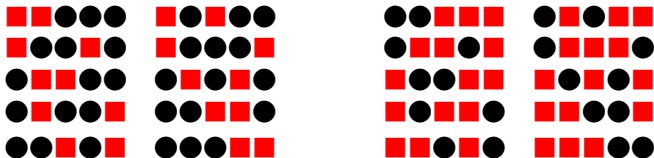
任意の非負整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \binom{a}{a-b}$$

全単射による証明 (着色を用いる):

- ▶ 左辺 = a 個のものの中から色を塗る b 個を選ぶ方法の総数
- ▶ 右辺 = a 個のものの中から色を塗る $a - b$ 個を選ぶ方法の総数

色の有無を入れ替えるという 1 対 1 対応により, 左辺 = 右辺が分かる □



二項係数に関する恒等式：対称性 — 組合せ的解釈：格子道

性質：二項係数の対称性

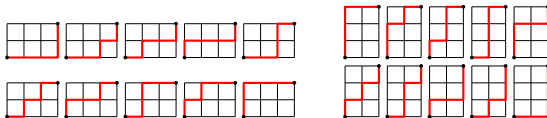
任意の非負整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \binom{a}{a-b}$$

全単射による証明 (格子道を用いる) :

- ▶ 左辺 = $(0, 0)$ から $(a-b, b)$ へ至る格子道の総数
- ▶ 右辺 = $(0, 0)$ から $(b, a-b)$ へ至る格子道の総数

直線 $y = x$ に関してこの2つは対称なので、同数となる □



二項係数に関する恒等式：パスカルの規則

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明：式変形による

$$\binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} = \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} + \frac{(a-1)!}{b!((a-1)-b)!}$$

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して、 $a - 1 \geq b$ ならば、

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} + \frac{(a-1)!}{b!((a-1)-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!(a-b)!} + \frac{(a-1)!}{b!(a-b-1)!} \end{aligned}$$

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} + \frac{(a-1)!}{b!((a-1)-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!(a-b)!} + \frac{(a-1)!}{b!(a-b-1)!} \end{aligned}$$

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して、 $a - 1 \geq b$ ならば、

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} + \frac{(a-1)!}{b!((a-1)-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!(a-b)!} + \frac{(a-1)!}{b!(a-b-1)!} \\ &= \frac{(a-1)!b}{b(b-1)!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)(a-b-1)!} \end{aligned}$$

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} + \frac{(a-1)!}{b!((a-1)-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!}{(b-1)!(a-b)!} + \frac{(a-1)!}{b!(a-b-1)!} \\ &= \frac{(a-1)!b}{b(b-1)!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)(a-b-1)!} \\ &= \frac{(a-1)!b}{b!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)!} \end{aligned}$$

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則 (証明の続き)

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明の続き：式変形による

$$\binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} = \dots = \frac{(a-1)!b}{b!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)!}$$



二項係数に関する恒等式：パスカルの規則 (証明の続き)

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明の続き：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \dots = \frac{(a-1)!b}{b!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!(b+(a-b))}{b!(a-b)!} \end{aligned}$$



二項係数に関する恒等式：パスカルの規則 (証明の続き)

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明の続き：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \dots = \frac{(a-1)!b}{b!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!(b+(a-b))}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!a}{b!(a-b)!} \end{aligned}$$

□

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則 (証明の続き)

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明の続き：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \dots = \frac{(a-1)!b}{b!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!(b+(a-b))}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!a}{b!(a-b)!} = \frac{a!}{b!(a-b)!} \end{aligned}$$

□

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則 (証明の続き)

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して, $a - 1 \geq b$ ならば,

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

証明の続き：式変形による

$$\begin{aligned} \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b} &= \dots = \frac{(a-1)!b}{b!(a-b)!} + \frac{(a-1)!(a-b)}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!(b+(a-b))}{b!(a-b)!} \\ &= \frac{(a-1)!a}{b!(a-b)!} = \frac{a!}{b!(a-b)!} = \binom{a}{b} \quad \square \end{aligned}$$

等式に対する組合せ的解釈：二重の数のえ上げによる証明

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して、 $a - 1 \geq b$ ならば、

$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

組合せ的解釈で証明してみる

組合せ的解釈による等式の証明 (2)

- 1 左辺と右辺が数える組合せ的解釈を 1 つ定める
- 2 左辺と右辺がそれぞれ それを数えることを証明する

これを **二重の数のえ上げによる証明** と呼ぶことがある

二項係数に関する恒等式：パスカルの規則 — 組合せ的解釈：着色

性質：パスカルの規則

任意の正整数 $a \geq b$ に対して、 $a - 1 \geq b$ ならば、

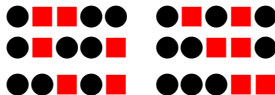
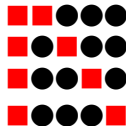
$$\binom{a}{b} = \binom{a-1}{b-1} + \binom{a-1}{b}$$

二重の数え上げによる証明 (着色を用いる) :

a 個のものから b 個に色をつける方法の総数は $\binom{a}{b}$

- ▶ 最初のを塗る場合だけ見ると、 $\binom{a-1}{b-1}$ 通り
- ▶ 最初のを塗らない場合だけ見ると、 $\binom{a-1}{b}$ 通り

すなわち、左辺 = 右辺



二項係数に関する恒等式：吸収恒等式

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1}$$

証明：式変形による

$$\frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1}$$

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1}$$

証明：式変形による

$$\frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1} = \frac{a}{b} \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!}$$

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1}$$

証明：式変形による

$$\frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1} = \frac{a}{b} \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} = \frac{a!}{b!(a-b)!}$$

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1}$$

証明：式変形による

$$\frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1} = \frac{a}{b} \frac{(a-1)!}{(b-1)!((a-1)-(b-1))!} = \frac{a!}{b!(a-b)!} = \binom{a}{b} \quad \square$$

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式 — 組合せ的解釈：着色

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} = \frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1}$$

二重の数え上げによる証明 (着色を用いる) :

a 個のものの中から $b-1$ 個を赤で, 1 個を青で塗る方法の総数 N を考える

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式 — 組合せ的解釈：着色

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} b = a \binom{a-1}{b-1}$$

二重の数え上げによる証明 (着色を用いる):

a 個のものの中から $b-1$ 個を赤で, 1 個を青で塗る方法の総数 N を考える

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式 — 組合せ的解釈：着色

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} \binom{b}{1} = \binom{a}{1} \binom{a-1}{b-1}$$

二重の数え上げによる証明 (着色を用いる):

a 個のものの中から $b-1$ 個を赤で, 1 個を青で塗る方法の総数 N を考える

二項係数に関する恒等式：吸収恒等式 — 組合せ的解釈：着色

性質：吸収恒等式

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\binom{a}{b} \binom{b}{1} = \binom{a}{1} \binom{a-1}{b-1}$$

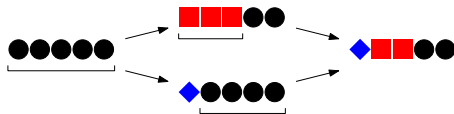
二重の数え上げによる証明 (着色を用いる) :

a 個のものの中から $b-1$ 個を赤で, 1 個を青で塗る方法の総数 N を考える

- ▶ 左辺 = a 個のものの中から b 個に赤を塗り,
その b 個の中から 1 個に青を塗る
- ▶ 右辺 = a 個のものの中から 1 個に青を塗り,
残り $a-1$ 個の中から $b-1$ 個に赤を塗る

この 2 つはどちらも N に等しいので, 左辺 = 右辺

□



二項係数：上界と下界

二項係数の性質：簡単な評価

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b \leq \binom{a}{b} \leq \left(\frac{ea}{b}\right)^b$$

上界の証明：演習問題

- ▶ ヒント：まず, $\binom{a}{b} \leq \frac{a^b}{b!}$ を証明する
- ▶ ヒント：階乗に対する下界を使う

二項係数：上界と下界 — 下界の証明 (1)

二項係数の性質：簡単な評価

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b \leq \binom{a}{b} \leq \left(\frac{ea}{b}\right)^b$$

下界の証明： $b = 1$ のときは次のようにして正しいことが分かる

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b = a = \binom{a}{b}$$

あとは、 $b \geq 2$ のときに正しいことを示せばよい

二項係数：上界と下界 — 下界の証明 (2)

二項係数の性質：簡単な評価

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b \leq \binom{a}{b} \leq \left(\frac{ea}{b}\right)^b$$

下界の証明： $a + b \geq 4$ に関する数学的帰納法で証明する

- ▶ $a + b = 4$ のとき (つまり, $a = 2, b = 2$)

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b = 1 = \binom{a}{b}$$

- ▶ $a + b = 5$ のとき (つまり, $a = 3, b = 2$)

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b = \frac{9}{4} < 3 = \binom{a}{b}$$

二項係数：上界と下界 — 下界の証明 (3)

二項係数の性質：簡単な評価

任意の正整数 $a \geq b$ に対して,

$$\left(\frac{a}{b}\right)^b \leq \binom{a}{b} \leq \left(\frac{ea}{b}\right)^b$$

下界の証明 (続き)：任意の正整数 $k \geq 5$ を考える

- ▶ $4 \leq a + b \leq k$ のときに, この下界が成り立つと仮定する (累積帰納法)
- ▶ $a + b = k + 1 \geq 6$ のときを考えると

$$\binom{a}{b} = \frac{a}{b} \binom{a-1}{b-1} \geq \frac{a}{b} \left(\frac{a-1}{b-1}\right)^{b-1} \geq \frac{a}{b} \left(\frac{a}{b}\right)^{b-1} \geq \left(\frac{a}{b}\right)^b \quad \square$$

目次

① 階乗

② 二項係数

③ 二項定理

④ 今日のまとめ

二項定理

性質：二項定理

任意の複素数 x, y と任意の非負整数 n に対して,

$$(x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

証明：演習問題

- ▶ ヒント： n に関する数学的帰納法 + パスカルの規則

二項定理の応用 (1)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 1

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} = 2^n$$

証明: 二項定理の式において, $x = y = 1$ とすると

$$2^n = (1 + 1)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} 1^k 1^{n-k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \quad \square$$

例題 1：組合せ的解釈 (着色)

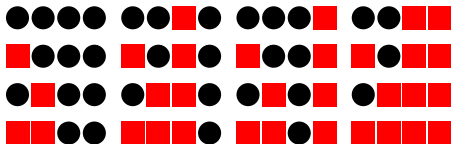
例題 1

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} = 2^n$$

二重の数え上げによる証明 (概略) :

- ▶ 右辺 = n 個のものの中からいくつかに色を塗る方法の総数
- ▶ 左辺の第 k 項 = n 個のものの中から k 個に色を塗る方法の総数



例題 1：組合せ的解釈 (着色)

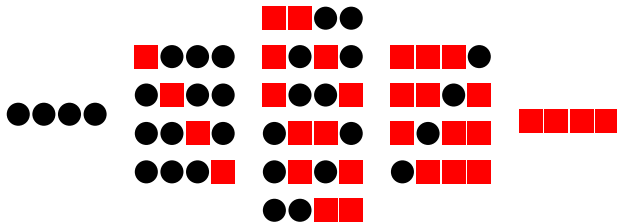
例題 1

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} = 2^n$$

二重の数え上げによる証明 (概略)：

- ▶ 右辺 = n 個のものの中からいくつかに色を塗る方法の総数
- ▶ 左辺の第 k 項 = n 個のものの中から k 個に色を塗る方法の総数



二項定理の応用 (2)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 2

任意の正整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n (-1)^k \binom{n}{k} = 0$$

二項定理の応用 (2)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 2

任意の正整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n (-1)^k \binom{n}{k} = 0$$

証明: 二項定理の式において, $x = -1, y = 1$ とすると

$$0 = (-1 + 1)^n$$

二項定理の応用 (2)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 2

任意の正整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n (-1)^k \binom{n}{k} = 0$$

証明: 二項定理の式において, $x = -1, y = 1$ とすると

$$0 = (-1 + 1)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} (-1)^k 1^{n-k}$$

二項定理の応用 (2)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 2

任意の正整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n (-1)^k \binom{n}{k} = 0$$

証明: 二項定理の式において, $x = -1, y = 1$ とすると

$$0 = (-1 + 1)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} (-1)^k 1^{n-k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} (-1)^k \quad \square$$

二項定理の応用 (3)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

二項定理の応用 (3)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

証明: 二項定理より

$$(x + 1)^{2n}$$

二項定理の応用 (3)

$$\text{二項定理：} (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

証明：二項定理より

$$(x + 1)^{2n} = \sum_{k=0}^{2n} \binom{2n}{k} x^k 1^{2n-k}$$

二項定理の応用 (3)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

証明: 二項定理より

$$(x + 1)^{2n} = \sum_{k=0}^{2n} \binom{2n}{k} x^k 1^{2n-k} = \sum_{k=0}^{2n} \binom{2n}{k} x^k$$

二項定理の応用 (3)

$$\text{二項定理: } (x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k y^{n-k}$$

例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

証明: 二項定理より

$$(x + 1)^{2n} = \sum_{k=0}^{2n} \binom{2n}{k} x^k 1^{2n-k} = \sum_{k=0}^{2n} \binom{2n}{k} x^k$$

特に, $(x + 1)^{2n}$ における x^n の係数は $\binom{2n}{n}$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$(x + 1)^{2n} = (x + 1)^n (x + 1)^n$$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$(x + 1)^{2n} = (x + 1)^n (x + 1)^n = \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k \right) \left(\sum_{\ell=0}^n \binom{n}{\ell} x^\ell \right)$$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$\begin{aligned}(x+1)^{2n} &= (x+1)^n(x+1)^n = \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k \right) \left(\sum_{\ell=0}^n \binom{n}{\ell} x^\ell \right) \\ &= \sum_{k=0}^n \sum_{\ell=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{\ell} x^{k+\ell}\end{aligned}$$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$\begin{aligned}(x+1)^{2n} &= (x+1)^n(x+1)^n = \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k \right) \left(\sum_{\ell=0}^n \binom{n}{\ell} x^\ell \right) \\ &= \sum_{k=0}^n \sum_{\ell=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{\ell} x^{k+\ell}\end{aligned}$$

つまり, この式における x^n の係数は

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{n-k}$$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$\begin{aligned}(x+1)^{2n} &= (x+1)^n(x+1)^n = \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k \right) \left(\sum_{\ell=0}^n \binom{n}{\ell} x^\ell \right) \\ &= \sum_{k=0}^n \sum_{\ell=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{\ell} x^{k+\ell}\end{aligned}$$

つまり, この式における x^n の係数は

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{n-k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{k}$$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$\begin{aligned}(x+1)^{2n} &= (x+1)^n(x+1)^n = \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k \right) \left(\sum_{\ell=0}^n \binom{n}{\ell} x^\ell \right) \\ &= \sum_{k=0}^n \sum_{\ell=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{\ell} x^{k+\ell}\end{aligned}$$

つまり, この式における x^n の係数は

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{n-k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2$$

二項定理の応用 (3) : 証明の続き

一方,

$$\begin{aligned}(x+1)^{2n} &= (x+1)^n(x+1)^n = \left(\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^k \right) \left(\sum_{\ell=0}^n \binom{n}{\ell} x^\ell \right) \\ &= \sum_{k=0}^n \sum_{\ell=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{\ell} x^{k+\ell}\end{aligned}$$

つまり, この式における x^n の係数は

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{n-k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} \binom{n}{k} = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2$$

したがって,

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

□

例題 3：組合せ的解釈 (格子道)

例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

二重の数え上げによる証明 (アイディア) :

- ▶ 右辺 = $(0, 0)$ から (n, n) へ至る格子道の総数



例題 3：組合せ的解釈 (格子道)

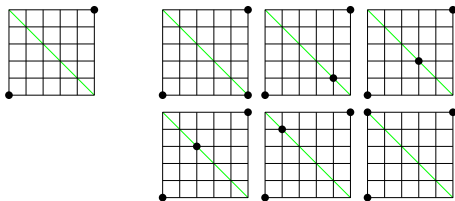
例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

二重の数え上げによる証明 (アイディア) :

- ▶ 左辺の第 k 項 = $(0, 0)$ から (n, n) へ至る格子道の中で、 $(k, n - k)$ を通るものの総数



例題 3：組合せ的解釈 (格子道)

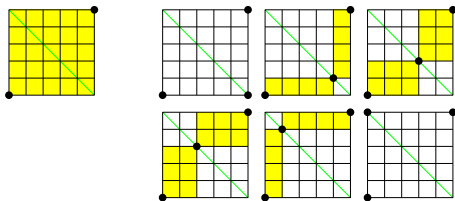
例題 3

任意の非負整数 n に対して

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k}^2 = \binom{2n}{n}$$

二重の数え上げによる証明 (アイディア) :

- ▶ 左辺の第 k 項 = $(0, 0)$ から (n, n) へ至る格子道の中で,
 $(k, n - k)$ を通るものの総数



目次

- ① 階乗
- ② 二項係数
- ③ 二項定理
- ④ 今日のまとめ

今日の目標

今日の目標

次の2つの数を扱えるようになる

- ▶ 階乗, 二項係数

扱えるとは？

- ▶ 漸近公式と簡単な上界, 下界
- ▶ 二項定理
- ▶ 組合せ的解釈: 全単射による証明, 二重の数え上げによる証明

格言

組合せの等式は, 組合せ的解釈で直感的に理解

格言

漸近公式は難しい. 簡単な上界・下界を使いこなす.

目次

- ① 階乗
- ② 二項係数
- ③ 二項定理
- ④ 今日のまとめ